

# macOS Big Surでの生徒の映像／音声参加機能の設定について

## 1. はじめに

macOS Big Surより、プライバシーが強化され、カメラやマイクを使用するアプリケーションは、アプリケーションの使用者に、許可をえないと、カメラやマイクを、使えなくなりました。

E-Lecture Playerも、生徒の映像／音声参加機能では、カメラやマイクを使用しています。

このため、使用にあたって、アプリケーション使用者に、許可をえることが必要になりました。

ちなみに、カメラやマイクの使用許可は、一度設定すると、Macに、記録されます。

また、管理者権限を持つ使用者は、その設定を変更することができます。

E-Lecture Playerでは、まだ、設定がされていない状態で、以下の操作を行うと、

確認のためのダイアログウインドウが、表示されるようになりました。

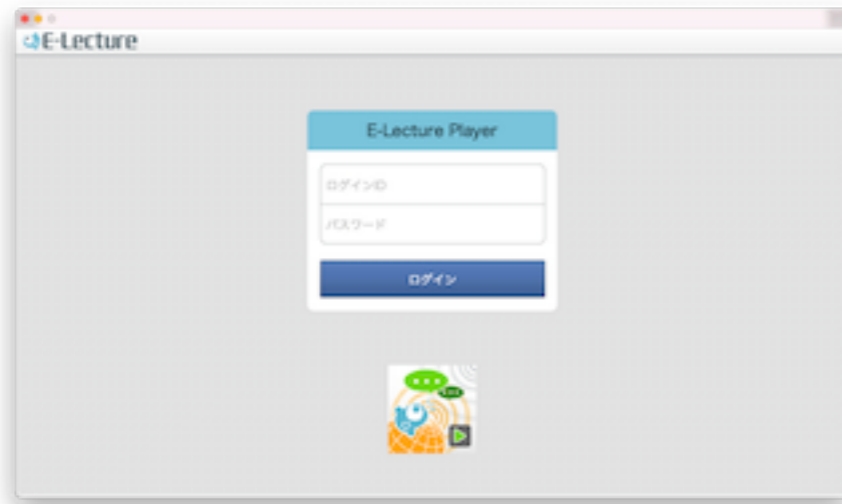
- ・メニューから、「カメラ&マイク設定」を呼び出した場合
- ・ライブ中に、生徒の映像もしくは、音声参加に応じた場合

どちらの場合でも、設定をすることは可能ですが、カメラ&マイク設定の方が、ライブ中よりも、落ち着いて、設定することができますので、そちらで、設定されることを推奨します。

## 2. メニューから、「カメラ&マイク設定」を呼び出した場合

カメラ&マイク設定でのカメラ及びマイクの使用設定の手順は、以下となります。

(1) アプリケーションフォルダの「E-LecturePlayer」を起動します。



ログイン画面が表示されます。

(2) ログインします。

guest

\*\*\*\*\*

ログイン

以下のログインIDとパスワードで、ログインします。

ログインID : guest

パスワード : guest

(3) メニュー画面が表示されます。



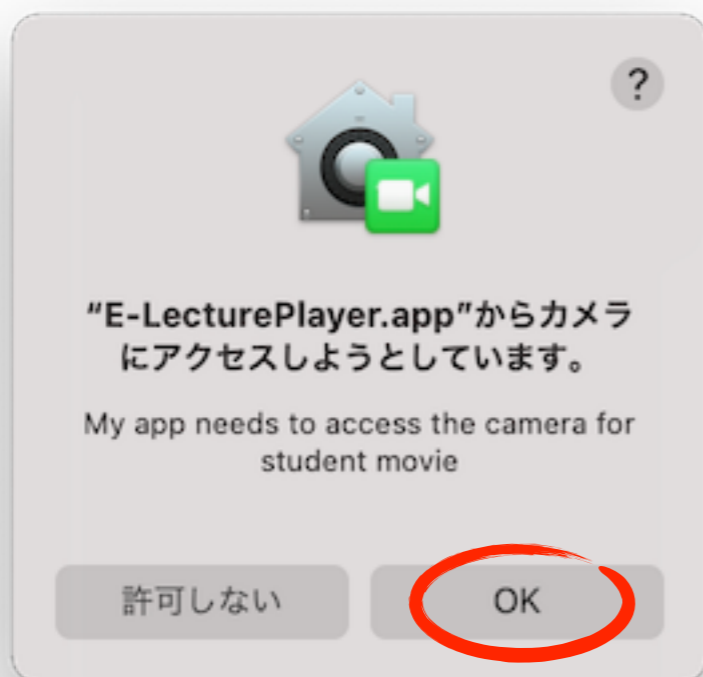
(4) 画面右上の設定（歯車）メニューから、「カメラ&マイク定」を選びます。



(5) カメラ&マイク設定ウィンドウと、カメラへのアクセスを確認するダイアログが表示されます。



(6) カメラへのアクセスを確認するダイアログの「OK」ボタンを押します。



なお、生徒の音声参加機能のみを使う場合でも、カメラへのアクセス確認は、「OK」にしてください。生徒参加はムービー形式で配信しているため、カメラへのアクセスが、必要になっています。

(7) マイクへのアクセスを確認するダイアログが表示されます。



(8) マイクへのアクセスを確認するダイアログの「OK」ボタンを押します。



(9) カメラ&マイク設定ウインドウの内容が、更新されます。



これで、設定は、完了です。

ログアウトしていただいて、だいじょうぶです。

3. ライブ中に、生徒の映像もしくは、音声参加に応じた場合

ライブ中のカメラ及びマイクの使用設定の手順は、以下となります。

(1) 参加確認ダイアログが表示されます。



同時に、エラーメッセージ（システムエラー：1009）が表示されます。

(2) エラーメッセージの「OK」ボタンを押してください。



エラーメッセージは、消えます。

(3) 参加確認ダイアログから、映像参加か、音声参加かを選びます。

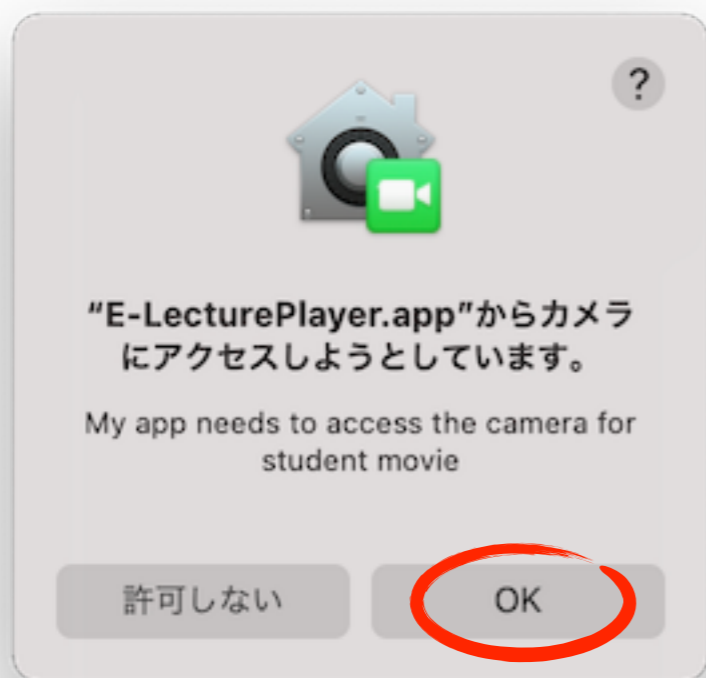


(4) カメラへのアクセスを確認するダイアログが表示されます。





(5) カメラへのアクセスを確認するダイアログの「OK」ボタンを押します。



なお、生徒の音声参加機能のみを使う場合でも、カメラへのアクセス確認は、「OK」にしてください。生徒参加はムービー形式で配信しているため、カメラへのアクセスが、必要になっています。

(6) マイクへのアクセスを確認するダイアログが表示されます。



(7) マイクへのアクセスを確認するダイアログの「OK」ボタンを押します。



(8) 生徒参加ウィンドウが、表示されます。



これで、ライブ中の設定は、完了です。